

## (6) 令和6年度 志教育全体計画

宮城県立角田支援学校

### 〈学校教育目標〉

持てる力を高め、心身の調和的発達を促し、健康で心豊かな児童生徒を育成する。

### 〈志教育の目標〉

体験学習や実習等をとおして人や社会と関わるちからを培い、将来、社会の一員としてよりよい生き方で生活しようとする態度を育成する。

### 重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「果たす」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気に返事や挨拶をする。</li> <li>・指示や約束を守り、友達と関わりながら集団生活を送る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の生活を意識し、必要な知識や技能を身に付ける。</li> <li>・好きなことを見つけ、生活を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係活動や清掃活動に進んで取り組む。</li> <li>・集団の一員としての役割を果たそうとする。</li> </ul>

### 各教育活動における取組の観点

各教科等を含む させた指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実生活に即した単元を構成することにより、集団の一員として約束事を守り、将来、生活を楽しめるよう、社会生活に必要なスキルを身に付ける。</li> </ul>
教科別の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に必要な基本的な知識・技能を習得する。</li> <li>・将来の生活に必要な健康の保持増進や体力の向上を図る。</li> </ul>
特別の教科 道徳	学校教育全体を通じて学習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことは自分でしようとする態度を育てる。</li> <li>・生活の経験を広げ、場に応じたルールやマナーを身に付ける。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会活動や交流活動の共同学習等を通して、集団や社会の一員であることに気づき、仲間と協力して生活する気持ちを育てる。</li> </ul>
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の障害を理解し、克服する態度と気持ちを育て、将来社会の中で生活するために必要な知識や技能を身に付けようとする意欲を育てる。</li> </ul>
総合的な学習 （探究）の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余暇の時間に取り組めるような好きなことを見つけたり、友達や周囲の人との関わり大切さを知ったりするなどして、将来の生活を豊かで楽しめるようにする。</li> </ul>

### 各学部の取組内容

小学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来社会的に自立した生活を送るための基礎作りの段階を捉え、日常生活の自立を目標に、身辺処理や社会適応力を伸ばすことを重点的に指導する。教師や友達と関わりながら、日々の生活に必要なスキルを習得するとともに当番や役割活動などを通して人の役に立つ活動を経験する。また、校外学習や宿泊学習を通して、生活経験や社会との関わりを拡充に努める。</li> </ul>
中学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々と関わりながら地域で暮らすことを卒業後の目標とし、これまでの教育成果を踏まえ、「生活する力」「働く力」「楽しむ力」を培い、一人一人の発達段階や特性に応じた指導を継続的・発展的に行う。日々の学習活動の中で人と関わる力、目標を持ち取り組む力、役割を知り積極的に活動する力の育成に努める。また、活動の中心となる作業学習や現場実習では、働くことへの意欲付け、校外学習や宿泊学習等では、集団の一員として活動する力を育成していく。</li> </ul>
高等部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等部卒業後の「自立と社会参加」に向けて、5つの力「生きていく力」「生活する力」「かかわる力」「楽しむ力」「働く力」をバランスよく培い、心身の調和的発達を目指した指導を行う。特に将来の就労に直結する現場実習を通して学年や実態に応じた的確なキャリア教育を進めることにより、生徒一人ひとりに応じた自己実現を図る。また、アルミ缶リサイクル運動に取り組むことを通じて人の役に立ったり、収益を寄付したりするなど「共助」の気持ちを育成していく。</li> </ul>

### 〈家庭との連携〉

- ・連絡帳 ・個別面談 ・進路面談
- ・個別の教育支援計画、移行支援計画
- ・成長の記録 ・キャリアパスポート

### 〈地域・企業との協働〉

- ・現場実習 ・職場施設見学
- ・交流及び共同学習 ・居住地校学習

